

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月13日
エンシュウ株式会社
(東証プライム 6218)



アジェンダ

1. 事業概要

2. 決算概要 ・ 業績予想

3. 補足資料

会社概要

本社所在地 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888番地

設 立 1920年 2月5日

代 表 者 代表取締役社長 山下 晴央

資 本 金 46億4,085万円

従 業 員 数 1,025名（連結）※2022年3月末

事 業 内 容

- 工作機械及び部品の製造並びに販売
- 二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー
マリン及び四輪車の部品加工

事業紹介

◆ 工作機械事業



システム機械



マシニングセンタ



レーザー加工機

◆ 部品加工事業



オートバイ・乗用車・商用車
などに搭載されるエンジン部品加工



駆動部品加工

エンシュウは、「工作機械メーカー」であり、「システムインテグレーター」であり、「部品加工メーカー」でもあります。そして我々はこの3つの機能（力）を結集することにより、世界中のお客様から信頼され選ばれる「モノづくりのプロ集団」であり続けることを目指しています。

新会社設立（エンシュウコネクティッド）

Connecting technology to the world

2022年4月1日設立

モノづくり Sler

Factory Automation + Robotics + IoT

エンシュウ コネクティッド株式会社

『繋ぐ技術でモノづくりをリードし
サステナブルな未来にコネク』

システムインテグレーション（自動化、省力化）ビジネス

- ・自動車生産設備で培った自動化技術・IoT技術を応用
- ・最新のデジタル技術、ロボット技術を加え
加工、組立、搬送を含めた一貫設備を提供
- ・切削加工に捉われないインテグレート提案

工場内のDX、IoT 推進を提案

業績サマリー

●チャレンジ500を上回る利益達成 (中期経営計画・プライム市場移行計画)

P7

2021年度 赤字計画 → 黒字化 (△90 → 370百万円)
2022年度 昨年発表の中期経営計画を上方修正

●株主還元も段階的に充実 (増配)

P16

2021年度 期末配当 10円 → 13円 に配当予想を修正
2022年度 期末配当 26円 に増配を予想

事業別サマリー

● 工作機械事業

P10

2021年度	2020年度受注減を受け減収 下期より受注高大幅回復（前年比+113%）、業界平均を上回る受注 <small>（日工会実績+68.7%）</small> 非内燃機関 受注比率 55.5%に拡大 <small>（前期実績 38.9%）</small>
2022年度	2021年度の国内外大幅な受注回復を受け、大幅増収予想 組織再編によるコストダウン → 原材料高を打ち返し更なる増益

● 部品加工事業

P14

2021年度	大幅増収増益、営業利益 557百万円の黒字化（前期は営業損失14百万円） 二輪部品を中心に大幅回復
2022年度	増収利益幅拡大、国内外ともに堅調 更なる仕事の取込、既存ラインの原価低減で利益拡大を狙う



連結業績実績

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 公表値 (2/10)	2021年度 実績	2022年度 業績予想	増減率
売上高	22,120	24,150	23,904	30,000	25.5%
営業利益	463	730	751	1,250	66.3%
営業利益率	2.1%	3.0%	3.1%	4.2%	—
経常利益	424	570	638	1,000	56.6%
当期純利益	250	290	370	750	102.5%

為替レート
(USD/JPY)

106.0

—

111.6

※ 120.8

為替レート
(EUR/JPY)

122.8

—

130.5

※ 131.3

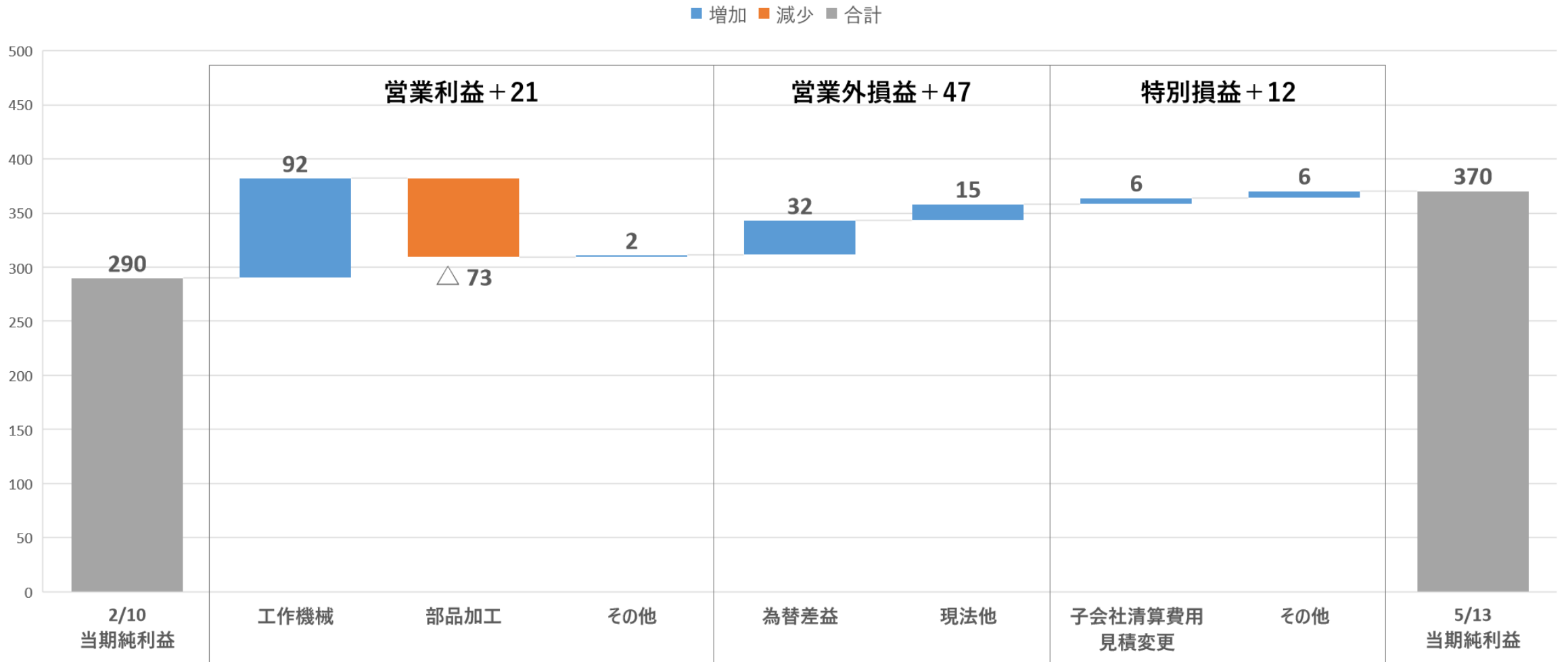
(※) 想定レート



事業別 連結売上高・営業利益

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 公表値 (2/10)	2021年度 実績	2022年度 業績予想	増減率
売上高	22,120	24,150	23,904	30,000	25.5%
工作機械事業	13,067	12,580	12,411	17,700	42.6%
部品加工事業	8,982	11,500	11,421	12,200	6.8%
営業利益 (営業利益率)	463 (2.1%)	730 (3.0%)	751 (3.1%)	1,250 (4.2%)	66.3%
工作機械事業	425 (3.3%)	50 (0.4%)	142 (1.2%)	350 (2.0%)	146.5%
部品加工事業	△14 (△0.2%)	630 (5.5%)	557 (4.9%)	850 (7.0%)	52.6%

通期連結業績 変動要因(2/10公表比)





工作機械事業 連結売上高・営業利益

2021年度 前年度比：減収、減益

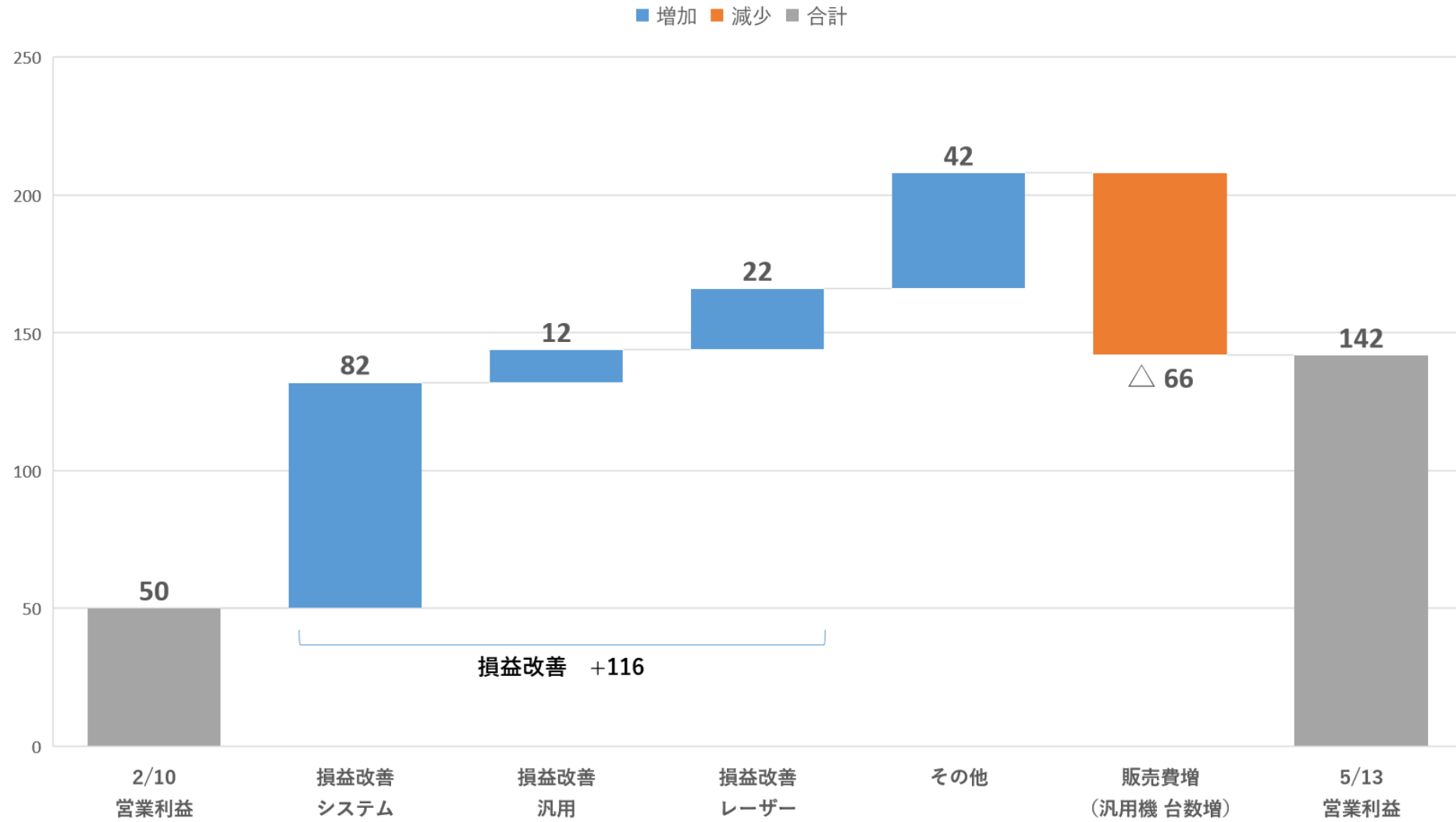
- ・前期受注低迷を受け、受注残が少ない中でスタート
- ・下期より受注が大幅に回復（受注高前年度比2.1倍）

2022年度 前年度比：大幅な増収増益を予想

- ・国内外ともに大幅な受注回復を受け、増収を予想
- ・新機種3モデルを市場投入予定、新市場開拓による拡販
- ・組織再編による一気通貫生産体制の構築、サービス体制強化による収益拡大

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 業績予想(2/10)	2021年度 実績	2022年度 業績予想
売上高	13,067	12,580	12,411	17,700
国内	5,552	3,478	3,275	8,894
アジア	5,065	5,309	5,256	4,683
北米	2,143	2,258	2,265	2,663
欧州	307	1,530	1,611	1,461
営業利益	425	50	142	350
営業利益率	3.3%	0.4%	1.2%	2.0%

工作機械 営業利益変動要因 (2/10公表比)





工作機械事業 連結受注高・受注残高推移

●当社景況 受注大幅回復（前年比2.1倍）

- ・国内、海外ともに業界実績を上回る増加率
- ・通期海外受注高は前年比 2.4倍の受注を獲得
- ・2022年度通期見通しでは、更に増加し190億円の受注獲得を見込む

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	増減率	2022年度 目標
国内受注高	3,164	5,783	82.8%	—
海外受注高	3,879	9,222	137.7%	—
受注高総額	7,043	15,005	113.0%	19,000
受注残高	4,533	7,229	59.5%	—

【参考】日工会受注推移		
単位：百万円	2021年度 実績	増減率
国内	566,229	73.7%
海外	1,101,273	66.2%
総額	1,667,502	68.7%
自動車 (国内)	118,201	38.7%

※集計期間：現地法人 1月～12月、本社 4月～3月



工作機械事業

業種別連結受注高

単位：百万円	2019年度 通期	2020年度 通期	2021年度 通期
自動車関連機械	11,286	5,550	8,416
うち内燃機関関連	10,604	4,306	6,670
うちEV等	682	1,244	1,746
一般機械	1,572	1,493	6,589
受注高総額	12,858	7,043	15,005
非内燃機関比率（※）	17.5%	38.9%	55.5%

（※）EV等と一般機械の合計



部品加工事業 連結売上高・営業利益

2021年度 前年度比で大幅増収増益を達成

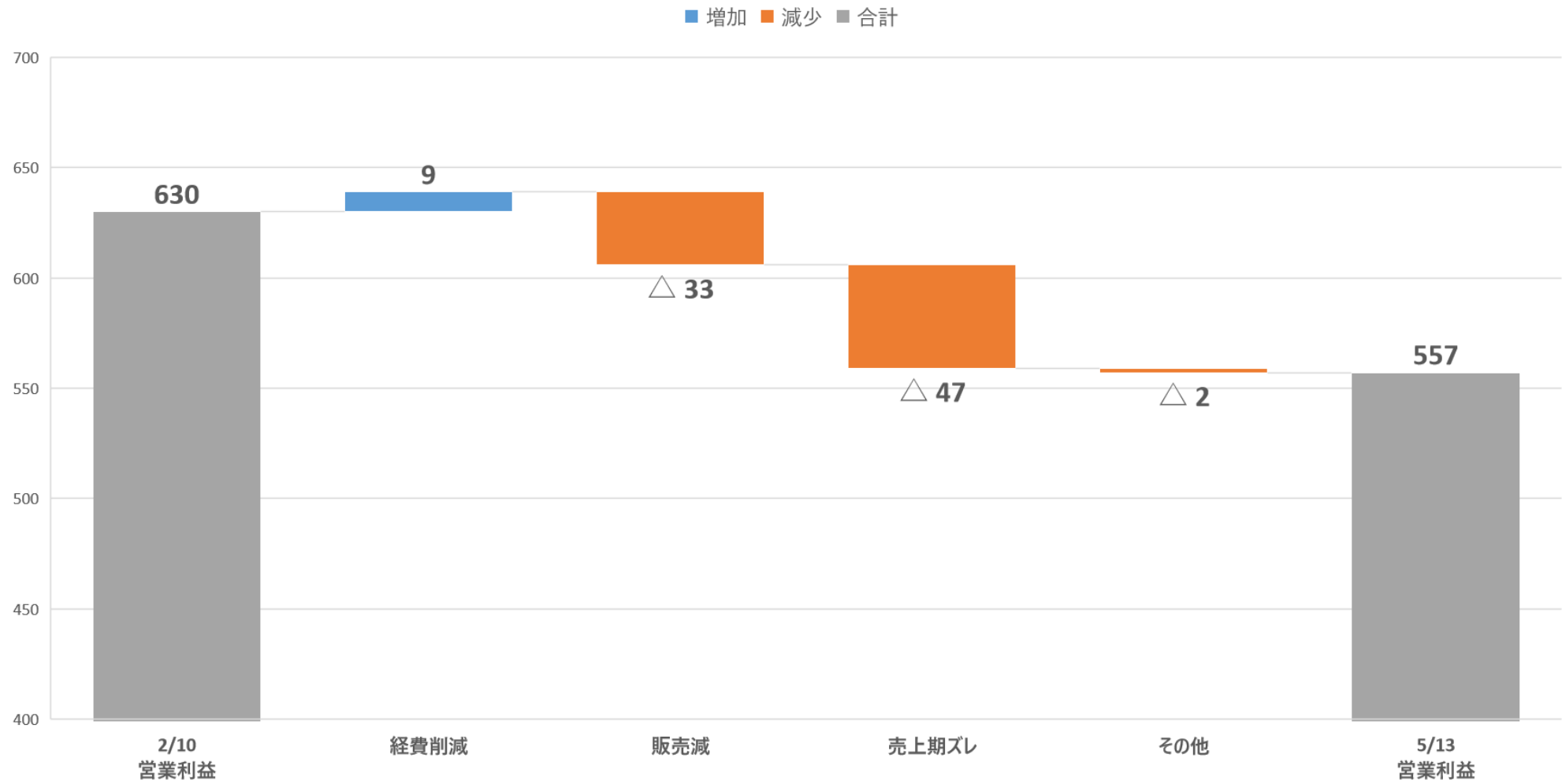
- ・ 本社、現地法人ともに仕事量が著しく増加し、大幅な増収増益（営業利益 Δ 14百万円 \rightarrow +557百万円）
- ・ コロナ渦以前を上回る売上高、営業利益となる

2022年度 売上高・営業利益ともに引き続き堅調を維持

- ・ 本社、現地法人ともに旺盛な製品需要に支えられ増収予想
- ・ 新たな部品加工の取り込みにより、増収増益予想
- ・ 製造経費削減・生産性向上策の効果などにより、更なる利益改善を図る

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 公表値(2/10)	2021年度 実績	2022年度 業績予想
売上高	8,982	11,500	11,421	12,200
営業利益	Δ 14	630	557	850
営業利益率	Δ 0.2%	5.5%	4.9%	7.0%

部品加工 営業利益変動要因（2/10公表比）





剰余金の配当について

●普通株式に係る年間配当

当期の期末配当金につきましては、1株当たり13円といたします。

好不況の波の大きい工作機械業界において、引き続き収益体質の強化による利益の最大化を図りつつ、利益剰余金を積み増していくことを資本政策の基本的な方針としてまいります。あわせてプライム市場上場企業として積極的に成長戦略への資源配分を行いつつ、株主還元も段階的に充実させてまいります。

2023年3月期末配当については、通期業績予想を勘案し1株当たり26円を予想しております。

基準日	普通株式1株当たり配当金		
	2021年3月期末	2022年3月期末	2023年3月期末 予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 26.00
合 計	5.00	13.00	26.00



四半期業績比較

(累計期間)

(単位：百万円)

						セグメント			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	工作機械関連		部品加工関連	
						売上高	営業利益	売上高	営業利益
2020年3月期 (152期)	第1四半期	6,314	655	577	504	3,828	659	2,467	△ 17
	上期	13,780	1,481	1,259	1,089	8,700	1,390	5,044	64
	第3四半期	20,025	1,844	1,571	1,261	12,349	1,743	7,623	61
	通期	27,125	2,120	1,742	1,355	16,916	1,969	10,138	100
2021年3月期 (153期)	第1四半期	5,126	193	192	84	3,689	373	1,418	△ 192
	上期	9,199	△ 105	△ 92	△ 222	5,803	257	3,360	△ 388
	第3四半期	15,713	196	226	55	9,615	386	6,044	△ 227
	通期	22,120	463	424	250	13,067	425	8,982	△ 14
2022年3月期 (154期)	第1四半期	5,837	193	140	25	2,781	△ 24	3,038	204
	上期	10,928	323	234	85	5,110	△ 85	5,782	383
	第3四半期	15,896	381	303	119	7,388	△ 134	8,455	478
	通期	23,904	751	638	370	12,411	142	11,421	557



注記事項等

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。